

よいことの ために 手を取りあおう

DISTRICT 2650

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツォ 「よいことのために手を取りあおう」

RI2650 地区ガバナー 小崎 学

長浜ロータリークラブ会長 中村 彰男 「未来へつなぐ」
「ロータリーの出逢いは幸せの連鎖へ」

第3426回 例会

## 2025年10月27日(月) 12:30~

企業の社会的貢献を目指して

講師:土田幸男君 担当:土田幸男君

休会

ロータリー財団について 次々回

講師: 髙山達也君

担当:ロータリー財団委員会

### 第3425回例会 会長挨拶

10月8日、京都ロータリークラブの 100周年記念式典に原馬さんと参 加し、同じテーブルの倉敷ロータリー クラブ会長で小笠原記念病院院 長の小笠原氏と親しくお話しする機 会を得ました。小笠原氏は、全国



的に稀な黒字経営病院を率いる方で、ノーベル 賞受賞の坂口先生の京大の先輩であり、かつて 長浜病院に勤務し数年間長浜に住んでいたこと があるという意外な縁があることがわかりました。 長浜病院に来ていただいたら、ひょっとしたら黒 字になるのでは、などと思いながらお話をお聞きし ていました。

話は変わりますが、今日は藤田さんの言葉との 出会いの話をさせていただきます。約18年前、藤 田さんが商工会議所議員クラブで話された「これ からの時代はブランドが非常に大事であり、ブラン ドは『当たり前のことを当たり前にできる』上に成 り立つ。成熟社会で競争できるのは唯一品質だ けだ」という言葉は、当時、お金を生まない品質保 証部を作るがどうか悩んでいた私に決断を促して くれました。大きな企業との取引が増えた現在で は、品質管理体制の評価が取引に先行するように なり、あの時の藤田さんの言葉に背中を押された ことを幸運に感じています。さらに、そのとき藤田 さんが「二つの牛乳のパッケージにCO2排出量 が書いてあったら、排出量の少ない方から売れて いく時代が来る」と話されたのをお聞きして、迷って いたISO認証を環境のISO14001に絞ることに決 めました。これも現在の仕事の継続に繋がってい ます。今日の会長の時間は藤田さんへのお礼の 時間になってしまいました。ありがとうございました。

## 「献血のすすめ」講師:田中猛士君

1000人献血の会は昭和63年 に発足し、平成七年ぐらいまでは1 日に1000人の献血を集めることを テーマとしていました。平成8年頃 からはイベントを行いながら啓蒙啓 発に勤めています。この間、献血事



業は変化し、400ml、200mlの全血献血から 成分献血にシフトをしてきました。以前は湖北献 血ルームという拠点施設がありましたが、反対運 動の甲斐なく、経済的な問題もあり廃止となりまし た。近年はボランティア数の激減による運営上の 問題や、若年層の献血の減少といった大きな問 題を抱えながら活動を続けています。

次に献血した血液がどのように使われているか ですが、近年は輸血よりも、56.6%が薬の原料、 血液製剤として使われています。献血の課題とし ては、少子高齢化だけではなく、献血をされる方が 本当に少なくなってきていて、献血者数は今後増え る見込みがあまりないのが現状です。10年毎の 世代別献血者数を見ても、25年前にボリュームゾー ンだった20代30代が、10年後には30代40代、さ らに10年後には40代50代とスライドしているだけ で、若年層が増えていません。献血が教育の中で 扱われることも皆無に等しく、このまま若年層の献 血量が大幅に増えないと、将来医療崩壊につなが りかねないということを認識していただければと思 い、今日お話をさせていただきました。是非現状を ご理解いただき今後もご協力をお願いします。

情報集会「知っているようで知らないロータリー情報」 ロータリー情報委員会 委員長 國友隆房君

國友委員長自身が疑問に思ったことについて

ロータリー解説本などをもとに調 べ、私的解釈したお話をお話しいた だきました。「なぜロータリークラブっ て言うの?」にはじまり、RIの分担 金や事務局の話など、知っていそう で知らない話ばかりでした。「あく



まで私的解釈なので活字にはしていない」という ことでしたので、内容にご興味がある方は國友委 員長まで。次回情報集会の機会があれば、続き のお話も聞けるそうですので次回が楽しみです。

## 新入会員歓迎会

中村会長からの挨拶の後、藤田 義嗣君の乾杯の発声で新入会員 歓迎会が開催されました。新入会 員4名の挨拶のあとの歓談は大変 盛り上がり、岸本前会長の一本締 めと「手に手つないで」の合唱にて お開きとなりました。



## 新入会員紹介



伏木与司広 血液型 A型 YOSHIHIRO FUSHIKI 生年月日 昭和48年7月21日 職業分類 内装 株式会社 伏木クロス 事業所名 役職名 代表取締役

事業所 〒526-0063 長浜市末広町240-6 TEL(0749)63-3543 FAX(0749)63-1808 携帯電話 090-8986-5034



長浜ロータリークラブ ホームページ

https://nagahama-rc.org

## 隣接クラブプログラム

- ●10月30日(木)/長浜北RC 福井東RCとの合同職場訪問例会(移動例会)
- ●10月30日(木)/彦根RC 新会員スピーチ
- ●10月31日(金)/長浜東RC 滋賀県の桜1,000本の再生活動 ~10年間の取り組み~

# 長浜ローターアクトクラブ例会情報

11月10日(月) 秋の専門知識開発例会 グラツィエ別館 11月24日(月)

1・2のサンタ 準備例会 グラツィエ別館

## ◆出席報告

月日·回	内容	会員 総数	免除 会員	事前 出席	事後 出席	ホームクラブ 【出席扱い】	出席率
9/29	3423	59(2)	7(2)	1	0	47	87.27%
10/6	3424	59(2)	7(2)	2	2	43	87.04%
10/20	3425	60(2)	7(2)	5		40	83.93%

(10 TIDOFIA)

#### デカナル 成計します

ノニアンに通	(10月20日次)		
ппппппппппппппппппппппппппппппппппппппп	60,000円	默計	530,000円
ータリー財団寄付	0.00ドル	뭁	4,353.26ドル
山記念奨学会寄付	50.000円	累計	644.000⊞



